



私たちの千葉事業所・生産技術グループは、日本最大の工業地帯である千葉県京葉臨海工業地帯の中心である市原市にあります。市原市は、JリーグのJEF市原の本拠地でもあります。生産技術グループは、20才代を主体とした総勢30名のフレッシュなメンバーで構成されています。

当グループは、最大顧客である住友化学工業（株）千葉工場で生産されている多種多様な製品等の検査・試験を主に行っています。千葉工場は石油化学の工場ですので、エチレンセンターを中心とした各プラントで生産される各種モノマー、誘導品及び各種のポリマーが製品になっています。これらの製品等が顧客支給品としての分析用試料になります。また、これらに関連した分析については、住友化学以外からのご依頼にも対応しています。

[業務内容]

1. 工業分析

主にクロマトグラフ分析法と化学分析法を用いて、オレフィン類及び芳香族系製品等の分析を担当しています。主な装備としては、ガスクロマトグラフ（50台）、データ処理システム、自動滴定装置、各種元素分析装置、各

種前処理装置等の汎用機器を駆使して効率の良い分析を行っています。

2. 樹脂分析

主にクロマトグラフ分析法、熱分析法、X線分析法、赤外分析法等を用いて、ポリエチレン、ポリプロピレン等の製品分析及び工程分析を担当しています。主な装備としては、ガスクロマトグラフ、ガスクロマトグラフ質量分析計、液体クロマトグラフ、DSC、蛍光X線分析計等を使用しています。

[品質管理の充実]

千葉事業所は、平成7年12月にISO 9001の認証を、分析サービス業界では日本で最初に取得しました。品質方針として「お客さまの信頼と満足を得る品質を提供する」を掲げ、分析受注から報告までの業務全般に渡りきめ細かい品質管理を徹底しています。当グループにおいても、文書・記録類の管理、分析機器の管理等を日々実施し、品質レベルの高いデータを顧客に

提供できるように努力しています。

[分析業務の低コスト化]

分析業務の省力化を推進するためにコストハーフを合い言葉にして、各種業務の改革を進めています。業務全般についてゼロからの見直しを行い、従来のやりかたに拘らず、徹底した省力化を検討し実施しています。業務の再編成、分析の自動化、システム化等を主体に、時間解析を行いながらコスト削減を行い、顧客に安く、早く、正確な分析サービスを提供できるように努力しています。

当社の経営理念である「すべては分析に始まる。輝かしい未来の設計のために、最高の分析技術を通じて、人類と社会に貢献する」を全員のモットーにしています。更に品質レベルを向上させ、分析技術のレベルアップをはかるため、ガイド25の取得を目指して



後列左から佐藤（久）、田原、石川
前列左から三宅、高畑、原田、矢野



後列左から菅野、佐田、本川、猪瀬、高橋（篤）、高橋（聖）、斉藤、三枝、倉富、河内
中列左から桐谷、小山、平栗、高口、吉崎、堤、吉田（綾）
前列左から細川、真子、高橋（稔）、吉田（詠）、林、佐藤（愛）

います。その結果、お客さまに安心して頂けるデータ・情報をお届けできると考えています。

SCAS

施設

技術